

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道2号 岡山倉敷立体（I期）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	古新田～無津地区：岡山県岡山市南区古新田～岡山県都窪郡早島町早島 加須山地区：岡山県倉敷市加須山～岡山県倉敷市加須山	延長	5.6km		
事業概要	<p>一般国道2号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。</p> <p>一般国道2号 岡山倉敷立体（I期）は、岡山県岡山市南区古新田から都窪郡早島町早島及び倉敷市加須山から倉敷市加須山に至る延長約5.6kmの道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>一般国道2号岡山倉敷立体（I期）は、岡山市～倉敷市間における交通の円滑化及び交通安全の確保、産業の活性化等に寄与するものである。</p>				
全体事業費	約430億円	計画交通量	約63,200～76,200台/日		
事業概要図					

**関係する地方公共団体等の意見**

【岡山県知事】  
「一般国道2号 岡山倉敷立体（I期）」における予算化について、同意します。  
一般国道2号は、瀬戸内海沿岸部を東西に縦貫し、日常生活や産業活動を支える大動脈です。特に当該区間は、慢性的な渋滞により、定時性や安全性、企業活動の生産性が著しく低下しております。当該区間の整備により、慢性的な渋滞や交通事故等の問題が解消し、日常生活の利便性向上や産業の支援及び災害時にも機能することから、早期整備は地元の悲願です。つきましては、当該区間を早期に整備していただきますよう、特段の御配慮をお願いいたします。  
なお、当県としましては、当該区間の整備効果を早期かつ最大限に発現させるため、用地の先行取得や埋蔵文化財調査の実施等、事業の円滑な推進に向けた環境整備を行ってまいります。  
また、工事中における渋滞緩和に資する道路として事業を進めている、県道箕島高松線、県道早島松島線、県道倉敷妹尾線を重点的に整備するとともに、地元調整等についても沿線自治体と連携し、国に協力してまいります。  
国においては、事業実施において、コスト縮減に最大限努めていただきますよう、お願いいたします。

【岡山市長】  
「一般国道2号岡山倉敷立体（I期）（岡山市古新田～早島町無津及び倉敷市加須山）」を予算化することについて同意します。  
今回手続きに着手される箇所は、中国地方でトップクラスの交通量で慢性的な渋滞が発生している区間であり、市民生活にも多大な影響を与えており、渋滞対策の実現は岡山市民の長年の悲願です。  
岡山市としては、事業を円滑に推進し、当該区間の整備効果を早期かつ確実に実現させるため、用地取得に向けた地元協議等の調整を積極的に行うとともに、工事中における渋滞対策等の調整・検討を行います。また、環状道路の整備など、国と一体となって岡山都市圏の渋滞緩和に向けて取り組んでまいります。  
つきましては、「一般国道2号岡山倉敷立体（I期）（岡山市古新田～早島町無津及び倉敷市加須山）」を令和4年度の新規事業として予算化していただきますようお願いいたします。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**  
費用便益：便益が費用を上回っている。  
手続き等：計画段階評価手続き完了（R2.11.18）、都市計画決定手続き完了（R4.2.18）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	2.5	総費用：348億円 （事業費：302億円 維持管理費：46億円）	総便益：879億円 （走行時間短縮便益：647億円 走行経費減少便益：199億円 交通事故減少便益：33億円）	基準年 令和3年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 2.3（交通量 -10 %）	B/C= 2.7（交通量 +10 %）	
		事業費変動	B/C= 2.3（事業費 +10 %）	B/C= 2.8（事業費 -10 %）	
	事業期間変動	B/C= 2.3（事業期間 +20 %）	B/C= 2.7（事業期間 -20 %）		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象区間は交通量が多く信号交差点が連続し、通勤・帰宅時間を中心に慢性的に激しい渋滞が発生しており、主要渋滞箇所が3箇所存在。</li> <li>当該区間の整備により、慢性的な交通混雑が解消され、速達性が向上。</li> </ul> <p>【対象区間の所要時間】 現況：約22分 → 整備後：約12分</p> <p>【対象区間の平均旅行速度】 現況：25km/h → 整備後：約46km/h</p>	
		事故対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象区間の死傷事故率は、全国平均の最大約5倍と非常に高い交差点が存在。</li> <li>速度低下に起因する追突事故の割合が約8割であり、安全性に課題。</li> <li>当該区間の整備により、速度低下に起因する事故等が減少し、安全性が向上。</li> </ul> <p>【死傷事故率】 現況：42.4件/億台キロ → 整備後：30.6件/億台キロ</p> <p>【事故危険区間】 現況：3箇所 → 整備後：0箇所</p>	
	歩行空間	-	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該区間周辺には三次救急医療施設が集積しており、当該区間の整備により渋滞が緩和され、円滑な救急救命活動の支援が期待される。</li> </ul>	
		地域経済	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象区間沿線の物流活動は、渋滞を避けた早朝輸送を行っており、倉庫周辺での指定時間待ち駐車が発生するなど、効率的な物流活動が阻害。</li> <li>交通円滑化により、物流の効率化が図られ、地域経済活動を支援。</li> </ul> <p>【水島港～大樋橋西交差点の所要時間】 現況：約61分 → 整備後：約51分</p>	
		災害	-	注目すべき影響はない。	
環境		-	注目すべき影響はない。		
	地域社会	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡山市及び倉敷市には、県内観光客数トップの倉敷美観地区、後楽園などが立地。</li> <li>主要観光地間の移動において、所要時間のばらつきが大きく、周遊性が低下。</li> <li>当該道路の整備により、定時性・速達性が確保され、周遊観光の促進が期待される。</li> </ul> <p>【倉敷美観地区～後楽園の所要時間】 現況：約58分 → 整備後：約48分</p>		
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画決定手続き完了（R4.2.18）</li> <li>岡山県知事等より早期事業化を要望</li> </ul>			

採択の理由

費用便益比が2.5と便益が費用を上回っていると同時に、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、当該区間の整備により、交通の円滑化及び交通安全の確保、高次救急医療機関への速達性・確実性の向上、産業の活性化、観光振興の促進が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。